



凡 例

輪郭構造
 滑落崖と側方崖
 新鮮なまたは開析されていない冠頂をもつ滑落崖
 部分的に開析されている冠頂をもつ滑落崖
 冠頂が著しく開析された滑落崖
 冠頂が丸味をおびて不明瞭になった滑落崖
 開析されて無くなってしまった冠頂・滑落崖の推定復元位置
 共通の冠頂をもち、互いに反対方向を向く滑落崖
 中・緩斜の流れ盤すべり面が地表に露出し、滑落崖にあたる急崖を呈しない斜面、冠頂は尾根の反対側面とすべり面との交線である。
 後方崖、多重稜線等

移動体の輪郭・境界
 後方に滑落崖があり、移動体の輪郭が不明瞭なし判定可能
 後方の滑落崖は明瞭であるが、移動体の輪郭の判定が困難
 滑落崖はほとんど開析されてしまったが過去の移動体の一部(不安定土塊)が残存している
 ほかの移動体や堆積物におわれた部分
 斜面体の移動の初期状態、基岩から分離していないとしても不安定域・移動域と推定される範囲
 斜面移動体かどうか判定できない山体・小丘
 脚部線・剛制域下限

内部構造
 二次・小滑落崖、崖線の解析程度に応じて輪郭構造の場合と同様に表わす
 サブユニットの境界、内部(二次)移動体輪郭
 移動体内の小尾根
 幅の広い溝状凹地、亀裂
 幅の狭い溝状凹地、亀裂

雁行亀裂
 線状窪地・小谷底線、→は谷の出口または谷底の傾斜方向
 W 地
 水のない窪地
 膨隆地の前線

移動方向等
 移動体の主移動方向
 すべり
 クリープ(匍行)
 流れ・押し出し
 落石など
 前方への傾動または傾動を伴う移動とその方向
 元の斜面傾斜と逆方向へ傾動した斜面の傾斜方向

その他
 遇急線
 活断層(地すべりを定位置させている顕著な断層)
 地層面等および節理・断層の走向・傾斜

行政区画 索引図

岡山県
 1. 笠岡市 2. 浅口郡 3. 倉敷市
 福山 岡山県丸亀郡
 4. 丸亀市 5. 仲多度郡

()内は所属20万分1図の図名

1:50,000 寄 島

1000 0 1000 2000 3000

調査者 清水文健・井口 隆・大八木規夫
 by Fumitake SHIMIZU, Takashi INOKUCHI and Norio OYAGI
 LM-564

「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院 許可なく複製を禁ずる発行の数値地図5000(地図画像)を複製したものである。(承認番号 平17総環、第688号)」